

あすならホーム畝傍 小規模多機能型居宅介護 運営推進会議議事録

開催日時	2024 年 3 月 22 日（金）10：00～12：10																		
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：（急遽、予定していた利用者の家族が体調不良のため欠席） 2. 地域代表：4 名（老人会会長）、（民生委員長）、（まちかどネット畝傍 2 名） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市長寿介護課） 4. 職員：5 名																		
利用者登録状況 （3 月 22 日現在）	1. グループホーム：17 名 2. 小規模多機能型居宅介護：29 名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：53 名 4. 訪問看護：21 名 5. ケアプランセンター：63 名（要介護） ＜小規模多機能利用者の介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>2 月末</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td><td>3</td><td>7</td><td>4</td><td>5</td><td>29</td></tr></table> ※3 月 18 日現在、登録人数は 29 名。平均介護度は、2.8（2 月末現在）。 泊り平均 7.4 人。通い平均 16.8 人。		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	2 月末	1	1	8	3	7	4	5	29
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計											
2 月末	1	1	8	3	7	4	5	29											
報告事項	◎ホームの取り組み ●外部評価について （1）1 月の運営推進会議の中で、参加者からいただいた意見をもとに作成した「サービス評価 総括表」を説明し、内容を確認した。 1. 前回の 11 月の会議から、約 3 年 10 カ月ぶりの対面開催の再開となり、今回の会議の参加者の数名は初めての参加となる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 （1）ランチ企画 月 6 回（0 と 5 のつく日）6 月から月 3 回で再開し、10 月から 6 回実施） ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1) 新型コロナウイルス感染防止に留意。2) 自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3) 暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、12 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） 学習会 （1）春と秋の「あすなら学習会」を春 3 回、秋 3 回実施。お役立ち情報の学習																		

- あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。
- (2) 福祉講演会（法人）…毎年、年2回開催。
- (3) 福祉学習会（法人）…年4回程度、テーマを設定し県内各地で開催。
- (4) 買い物支援…買い物に不便を抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週2回（火曜日と土曜日）、「移動店舗」が巡回。
- (5) ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援

3. 橿原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み

- (1) 当会は、地域包括ケアシステム構築のため、橿原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、橿原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。

4. 感染症予防：11月～3月 感染症予防月間

(1) 新型コロナウイルス対策＜with コロナ＞

- 1) 現状…感染者なし。2) 予防：①利用者…定期的なワクチン接種（11月28日接種予定＜グループホーム等＞）。②職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。3) 面会…コロナが一段落した10月から、居室での家族との面会を再開する。感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアは厳禁。

(2) インフルエンザ

- ・毎年の秋に、利用者及び職員を対象に予防接種。

(3) ノロウイルス

- ・処置備品の在庫確認と処置訓練

(4) 会議、研修など

- ①事業所…感染対策委員会（年2回）、感染症研修（年2回）
- ②法人…感染症予防対策委員会（11月）、全体会議（秋）

5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照

(1) 入居者の様子

- ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。
- ②お手伝い（お役立ち）[自立支援]…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。
- ③おやつ企画、食事企画

(2) 重大事故 この2カ月間、発生なし

(3) 取り組み状況と今後の取り組み

①Mさん、Tさんとお出かけ企画

- 1) Mさん…要介護5 課題としては鬱で意欲低下、下肢筋力低下。
⇒馴染みの寿司屋にお誘いすると「いきたい！私、あの階段乗り越えてみせるわ！リハビリがんばる」。当日、片麻痺であるが20段以上の階段も見事に昇降。一応、車椅子も持参したが店内でも使う事なく、歩いて座席へ。食事を楽しまれた。階段の様子を見て今後、車椅子を使わなくていいかもね？！と本人と職員で話がでている。新たなプランに反映できそうである。

2) Tさん…要介護3 食事量低下。ホームでは食事量ゼロ。

- ⇒お誘いすると「近くだからよく言った。●●寿司おいしいね」。認知症で、場所の理解が日常では難しい方ですが現地に着くなり、「●●寿司やねえ」と分かっておられた。近日、食事量ゼロが続き、心配でしたが●●寿司の寿司には興味を示され、鉄火巻きをまるかぶりされた。

3) Aさん…久しぶりの入浴

- ⇒要介護5のTさん、小規模多機能を利用することで、3年ぶりに個浴へ入る事ができた。

	6. 防災関連 (1) 消防訓練…年 2 回、 (2) 自然災害…9 月 1 日（地震防災訓練）3 月 11 日（水災害避難訓練） (3) 防災感染症対策委員会…1 月
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 「春のあすなら学習会」…4 月 30 日（火）、5 月 28 日（火）、6 月 25 日（火）のいずれも 10：30～12：00 開催。
評価・要望・意見等	1. 地域代表・地域住民・行政 (1) 地域代表の方は、本日、自治会の祭事があるため、途中退席された。 (2) このような会議や学習会に参加することで、初めて分かることがあるので、為になっている。 (3) サロン活動でランチ企画の支援をしていて喜ばれているが、今後、支援される側になる。 (4) 利用者のことを第一に考えながら、寄り添った取り組みをしていることを確認できた。引き続き、感染症対策を適切におこない、感染拡大の防止に努めてほしい。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016 年 7 月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023 年度：半年に 1 回）、身体拘束適正化委員会（2023 年度：3 か月に 1 回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2023 年度：年 2 回＜①6・7 月（個人情報保護含む）②2024 年 2 月＞）を実施。 2. 2019 年 9 月 28 日以降、緊急やむ得ない場合も含め、2024 年 3 月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2024 年 5 月 17 日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロンスペース）

あすならホーム畝傍 小規模多機能型居宅介護 運営推進会議議事録

開催日時	2024 年 1 月 19 日（金）10：00～12：10																		
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：3 名 2. 地域代表：4 名（老人会会長）、（民生委員長）、（まちかどネット畝傍 2 名） 3. 市・包括職員：1 名（橿原市長寿介護課） 4. 職員：7 名																		
利用者登録状況 （1 月 18 日現在）	1. グループホーム：17 名 2. 小規模多機能型居宅介護：28 名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：47 名 4. 訪問看護：21 名 5. ケアプランセンター：62 名（要介護） ＜小規模多機能型居宅介護の介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>1 月</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>28</td></tr></table> ※平均介護度は 2.5 の状況 ※泊り平均 7.2 人 通い平均 15.7 人		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	1 月	1	1	9	2	6	5	4	28
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計											
1 月	1	1	9	2	6	5	4	28											
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 前回の 11 月の会議から、約 3 年 10 カ月ぶりの対面開催の再開となり、今回の会議の参加者の数名は初めての参加となる方がおられるため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について サロン活動 (1) ランチ企画 月 6 回（0 と 5 のつく日）6 月から月 3 回で再開し、10 月から 6 回実施） ①目的…家での閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1) 新型コロナウイルス感染防止に留意。2) 自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3) 暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、12 名前後の地域の方が参加。 つながり連絡員制度 ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） 学習会 (1) 春と秋の「あすなら学習会」を春 3 回、秋 3 回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 (2) 福祉講演会（法人）…毎年、年 2 回開催（①9 月 15 日、②12 月 14 日）。 (3) 福祉学習会（法人）…年 4 回、「最期まで安心して暮らし続けるために」をテーマに県内各地で開催。 (4) 買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積ん																		

だトラックが週 2 回（火曜日と土曜日）、「移動店舗」が巡回。
(5) ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援

3. 榎原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み

- (1) 当会は、地域包括ケアシステム構築のため、榎原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、榎原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021 年 12 月 17 日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年 4 回程度。
- (2) 公開講演会を 12 月 15 日に『認知症当事者の声から社会参加を考える』をテーマに、講師の丹野智文さんを招き開催。参加 200 名。講演のポイント…「病名から人を見ない」「できることを一緒にする」「認知症は予防でなく、備えを」「できることを奪わない。失敗 する権利を奪わない」「外出禁止、携帯や財布の取り上げはダメ」「IT 活用」「大丈夫？の声かけは傷つく」「できること ≠ したいこと」「家族ではなく本人まず向き合う」

4. 感染症予防：11 月～3 月 感染症予防月間

- (1) 新型コロナウイルス対策＜with コロナ＞
 - 1) 現状…感染者なし。2) 予防：①利用者…定期的なワクチン接種（11 月 28 日接種予定＜グループホーム等＞）。②職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。3) 面会…コロナが一段落した 10 月から、居室での家族との面会を再開する。感染予防の上、15 分以内。面会時間が 15 分以上の場合、面会者が 3 人以上の場合は、サロンにて。フロアは厳禁。
- (2) インフルエンザ
 - ・ 10 月 17 日 予防接種 利用者（グループホーム等）
 - ・ 11 月 14 日 予防接種 職員 医療生協みみなし診療所
- (3) ノロウイルス
 - ・ 処置備品の在庫確認と処置訓練
- (4) 会議、研修など
 - ①事業所…感染対策委員会（年 2 回）、感染症研修（年 2 回）
 - ②法人…感染症予防対策委員会（11 月）、全体会議（秋）

5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照

(1) 入居者の様子

- ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。1 月：初詣
- ②お手伝い（お役立ち）[自立支援]…掃除、洗濯もの干し・たたみ、食器洗い・拭き。
- ③おやつ企画、食事企画
- ④身体が不自由になってから何年も外出されていない要介護の 5 利用者と職員 2 人で近鉄百貨店榎原店へおでかけをし、大好きなブラックコーヒーとモンブランケーキを召し上がる。
 - ・ 要介護 5 の利用者を在宅で看取り。大好きな家族に抱っこされご逝去され、馴染みの職員が訪問し、エンゼルケアに携わる。
 - ・ 要介護 4 の利用者は、10 月頃、自宅内で転倒し骨折。2 週間入院で、小規模多機能で退院後の受け入れ。10 月～12 月生活リハビリを励まれ、現在ご自身で歩かれるまでに回復。病院でのおむつが、ホームの 1 か月で排泄の失敗がなくなる。在宅復帰も検討。

6. 防災関連

- 3 月 11 日（水災害避難訓練）、5 月 10 日（消防訓練…日勤帯を想定）、9 月 1 日（地震防災訓練）、10 月 11 日（消防訓練…夜間帯を想定）

	7. 外部評価の実施 (1) 事前に会議参加メンバーへ配布した「事業所自己評価」に基づき、事務局から要旨を説明した。 (2) 「外部評価 地域かかわりシート①」に基づき、会議参加メンバーから意見を求めた。 (3) 次回の会議で、「サービス評価 総括表」を提示するため、「外部評価 地域かかわりシート①」を回収した。
今後の予定	◎ホームの予定 (1) 小規模多機能型居宅介護の外部評価 ・3月22日：運営推進会議で、「サービス評価 総括表」を提示し、意見をいただき、内容を確認する。そして、評価を公表。
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 (1) 一人暮らしで、自宅内で転倒し骨折し、長期の入院を覚悟していたが、小規模多機能で退院後の支援説明が納得できたので、2週間で退院できた。その上、ホームでのリハビリで歩行できるまで回復し本人も家族も喜んでいる。その時期は、家族も病気だったので、ホームでのケアは助かった。自宅で暮らせるようにリホームもしているが、本人はホームでの生活が気に入っている。 2. 地域代表 (1) サロン活動を通じて、人と触れ合うことが自分自身の健康と生きがいにつながっている。 (2) 施設の取り組みは、報告で概要は分かるが、職員のこと（体制含む）はまだまだ知らないことが多い。このような会議に参加していれば、素晴らしいことをしていることが分かるが、多くの方はいらないので、もっと広報をすれば良いと思う。 (3) 地域での役をしているが、いわゆるボランティア的なことになるので、100%前向きになれないこともあったが、最近、活動を通じて「自分のため」になっていると感じることが増えると同時に、そのように「プラス思考」を意識して活動することが大切であると感じている。 (4) 事業所がサロン活動などを通じて、地域住民が集まる場所になっていることを確認できた。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023年度：半年に1回）、身体拘束適正化委員会（2023年度：3か月に1回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2023年度：年2回＜①6・7月（個人情報保護含む）②2024年2月＞）を実施。 2. 2019年9月28日以降、緊急やむ得ない場合も含め、2024年1月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2024年3月22日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロンスペース）

あすならホーム畝傍 小規模多機能型居宅介護 運営推進会議議事録

開催日時	2023 年 11 月 17 日（金）10：00～11：50																																																						
運営推進会議メンバー （参加者）	1. 利用者、家族：1 名 2. 地域代表：4 名（老人会会長）、（民生委員長）、（まちかどネット畝傍 2 名） 3. 市・包括職員：1 名（榎原市長寿介護課） 4. 職員：4 名																																																						
利用者登録状況 （11 月 10 日現在）	1. グループホーム：17 名 2. 小規模多機能型居宅介護：28 名 3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：47 名 4. 訪問看護：24 名 5. ケアプランセンター：62 名（要介護） ＜介護度＞ <table><tr><td></td><td>要支援 1</td><td>要支援 2</td><td>要介護 1</td><td>要介護 2</td><td>要介護 3</td><td>要介護 4</td><td>要介護 5</td><td>合計</td></tr><tr><td>11 月</td><td>2</td><td>1</td><td>10</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td>28</td></tr></table> <table><tr><td></td><td>登録 数</td><td>泊り 平均</td><td colspan="4">通い</td><td>訪問 総数</td><td>通院 総数</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>総数</td><td>日平 均</td><td>日最 高</td><td>日最 少</td><td></td><td></td></tr><tr><td>9 月</td><td>27</td><td>10.2</td><td>374</td><td>12.5</td><td>15</td><td>11</td><td>456</td><td>13</td></tr><tr><td>10 月</td><td>27</td><td>15.6</td><td>435</td><td>14</td><td>17</td><td>11</td><td>508</td><td>17</td></tr></table> ※11 月 17 日現在の登録人数は 28 名（内 1 名入院中）、平均介護度は、2.2（11 月現在）の状況です。		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	11 月	2	1	10	4	4	2	5	28		登録 数	泊り 平均	通い				訪問 総数	通院 総数				総数	日平 均	日最 高	日最 少			9 月	27	10.2	374	12.5	15	11	456	13	10 月	27	15.6	435	14	17	11	508	17
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計																																															
11 月	2	1	10	4	4	2	5	28																																															
	登録 数	泊り 平均	通い				訪問 総数	通院 総数																																															
			総数	日平 均	日最 高	日最 少																																																	
9 月	27	10.2	374	12.5	15	11	456	13																																															
10 月	27	15.6	435	14	17	11	508	17																																															
報告事項	◎ホームの取り組み 1. 約 3 年 10 カ月ぶりの対面開催の再開となった。そのため、あらためて「運営推進会議」、法人「社会福祉法人協同福祉会」及び「あすならホーム畝傍」の概要を説明した。 2. 地域貢献活動について <u>サロン活動</u> （1）ランチ企画 月 6 回（0 と 5 のつく日）6 月から月 3 回で再開し、10 月から 6 回実施） ①目的…家で閉じこもり生活を開放し、社会性を保つと同時に、栄養状態の維持・改善に寄与する。 ②運営 1）新型コロナウイルス感染防止に留意。2）自宅での閉塞感の解消と健康づくりのため、リハビリ体操と口腔体操に取り組む。 3）暮らしの知恵を学び、生活に役立てるため、毎月テーマ「熱中症予防」などを決め、学習や情報提供に取り組む。 ③現状…毎回、12 名前後の地域の方が参加。 <u>つながり連絡員制度</u> ・安心を届けるため、サロン活動へのお誘い、安否確認（脱水・熱中症、自然災害） <u>学習会</u> （1）春と秋の「あすなら学習会」を春 3 回、秋 3 回実施。お役立ち情報の学習、あすならホーム畝傍の喜ばれた事例紹介、ならコープの商品紹介、意見交流。 （2）福祉講演会（法人）…毎年、年 2 回開催（①9 月 15 日、②12 月 14 日）。																																																						

	(3) 福祉学習会(法人)…年4回、「最期まで安心して暮らし続けるために」をテーマに県内各地で開催。 (4) 買い物支援…買い物に不便さを抱える人のために、ならコープの商品を積んだトラックが週2回(火曜日と土曜日)、「移動店舗」が巡回。 (5) ユニバーサル就労…精神的・社会的な要因で就労に困難を抱える方に対する就労支援 3. 樫原市地域包括ケアシステム連絡会の取り組み (1) 当会は、地域包括ケアシステム構築のため、樫原市内の地域密着型サービス事業所が連携し、学習や交流を通じて、職員のケアの質の向上、事業経営・運営の能力の向上を進め、樫原市民に貢献し、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指す。2021年12月17日発足。主な活動…事業者間の学習、交流。年4回程度。 (2) 公開講演会を12月15日に『認知症当事者の声から社会参加を考える』をテーマに、講師の丹野智文さんを招き開催。 4. 感染症予防：11月～3月 感染症予防月間 (1) 新型コロナウイルス対策<with コロナ> 1) 現状…感染者なし。2) 予防：①利用者…定期的なワクチン接種(11月28日接種予定<グループホーム等>)。②職員…ワクチン接種の奨励。発熱時の報告と受診。家族の発熱時の報告。3) 面会…コロナが一段落した10月から、居室での家族との面会を再開する。感染予防の上、15分以内。面会時間が15分以上の場合、面会者が3人以上の場合は、サロンにて。フロアは厳禁。 (2) インフルエンザ ・10月17日 予防接種 利用者(グループホーム等) ・11月14日 予防接種 職員 医療生協みみなし診療所 (3) ノロウイルス ・処置備品の在庫確認と処置訓練 5. 利用者に対する取り組み…「たより」参照 (1) 入居者の様子 ①お出かけ… 原則、制限なし。ただし、感染防止に留意。できるだけ、密な場所は、避ける。 ②お手伝い(お役立ち)[自立支援]…掃除、洗濯ものの干し・たたみ、食器洗い・拭き。 ③おやつ企画、食事企画、その他 1) 小規模多機能にはベトナムの技能実習生がいた。3年間の実習を終えて11月初旬に帰国。流暢な日本語で利用者と会話され、近くを一緒に散歩されるなど、利用者・職員共々楽しいひとときを過ごした。 2) 小規模多機能は登録が29名のため、泊り・通い・訪問の利用者も毎日と同じではない。体操が10時半からで、実施外は並行してお風呂など利用者も職員もそれぞれに毎日が目まぐるしく一日が過ぎていく。天候やその日の予定をみながら、藤原旧跡へコスモスを利用者とお出掛け。笑顔で写真におさまり、「コスモス綺麗やね。」とコスモス畑を歩いた。 3) 駐車場に小さな畑があり、職員が色々な種類の野菜を植えており、この前、グループホームの利用者と小規模多機能の利用者と合同でサツマイモを収穫した。大きなサツマイモに「凄い大きなサツマイモ」と皆さん口々に驚き喜ばれた。おやつ企画にサツマイモを揚げて食べた。「手作りは美味しい。」と食欲が進み、手がとまらないようでした。 6. 防災関連 ○3月11日(水災害避難訓練)、5月10日(消防訓練…日勤帯を想定)、9月1日(地震防災訓練)、10月11日(消防訓練…夜間帯を想定) 7. 地域密着型サービス外部評価 ・外部評価の概要と今後のスケジュールについて、説明した。
--	---

今後の予定	◎ホームの予定 (1) 秋の地域学習会：11月28日（火）開催予定。 (2) 公開講演会：12月15日（水）奈良県社会福祉総合センターにて、『認知症当事者の声から社会参加を考える』をテーマに、講師の丹野智文さんを招き開催。
評価・要望・意見等	1. 利用者・家族 (1) 人の世話になって、初めて健康と介護のありがたさが分かった。あすならホーム畝傍に来て、介護の仕方が施設によって違うことも分かった。あすならホーム畝傍に来て良かった。以前の施設では、ほとんど寝たきり状態だったが、座れるようになり、自分でできることが増えた。 (2) 母が認知症、父が脳梗塞でダブル介護となり、その上、仕事をしていたので、母を預ける施設を探していた。あすならホーム畝傍でお世話になり、助かっている。介護関係の仕事をしているので、介護サービスを利用する立場となって、家族の気持ちが分かった。 2. 地域代表 (1) 母親の介護のため、海外赴任から帰国した。自宅で介護を頑張ってきたが、来春、施設入居を検討している。 (2) ならコープ歴45年、30年前に高齢者福祉の取り組み法人で実施していく提案を聞いたが、その当時は、ひとごとであった。 (3) 今後、高齢者はできるだけ在宅生活を過ごしてもらおうことが好ましく、そのためにも自立支援が大切となる。 (4) コロナ感染症が5類となり、徐々に地域活動が復活するが嬉しい。
その他必要な事項	◎身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会等 1. 2016年7月から業務会議の中で、定期的に虐待防止委員会（2023年度：半年に1回）、身体拘束適正化委員会（2023年度：3か月に1回開催。）を開催し、入居者の行動を制限するような事例の有無を報告している。また、虐待防止及び身体拘束適正に関する学習（2023年度：年2回＜①6・7月（個人情報保護含む）②2024年2月＞）を実施。 2. 2019年9月28日以降、緊急やむ得ない場合も含め、2023年11月現在、入居者・利用者の行動を制限するような事例は発生していないことを報告した。

次回開催予定：2024年1月19日（金）（場所：あすならホーム畝傍 サロンスペース）



2023年9月15日(金)

まとめ・議事録：施設長 橋本 和也

1、ケアラーの会(運営推進会議)メンバー(本日の参加予定者)

※新型コロナウイルスの影響で自粛(開催中止)とさせて頂いた。

2、あすならホーム畝傍の取組み報告

※本まとめに記載。

3、本日出席して頂いている家族さん、参加者の方から…(自己紹介かねて)

※開催中止の為、報告の内容を書面でまとめている。

4、利用者登録状況

(1) 多機能型ケアホームの登録者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
8月	3	1	9	9	1	2	2	27

	登録数	泊り 平均	通い				訪問 総数	通院 総数
			総数	日平均	日最高	日最少		
7月	28	5.6	412	13.2	16	10	363	20
8月	27	4.7	385	12.4	15	8	396	21

※9月15日現在の登録人数は 28名、平均介護度は1.9の状況です。

(2) グループホームの入居者数

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
8月	0	5	4	6	2	1	18

※9月15日現在の入居者は17名、平均介護度は2.4の状況です。

(3) あすなら安心ケアシステムの登録者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
7月	19	6	10	4	3	42
8月	19	5	11	3	2	40

※9月15日現在の登録者は41名、平均介護度は2.1の状況です。

5、取り組み状況と今後の取り組み

【多機能型ケアホーム】

- ・まだまだ暑い日が続きますが、多機能では利用者さんに熱中症対策訪問をしています。今の状況だと10月いっぱいする予定です。
- ・7月は七夕があり短冊へそれぞれの願いを込めて書き、利用者さんが笹へ飾り付けます。
- ・涼しくなったので9月に藤原京跡へドライブに出掛けました。



【グループホーム】

- ・少人数にわかれてホーム周辺の散歩を行いました。
知り合いの方がお声をかけて下さり、入居者さんがとても笑顔で久しぶりの再会を喜んでおられました。
また、外気に触れることですっきりとした表情の方がおられ気分転換につながりました。
- ・9月には収穫したサツマイモを使って日替わりでサツマイモご飯、サツマイモのお味噌汁やキノコご飯を作って秋の味覚を感じて頂くことができました。「おいしいわぁ。」と笑顔がたくさん見られました。

【あすなら安心ケアシステム・安心支援システム】

- ・この夏熱中症予防のため随時訪問を強化しました。室内の温度管理や水分補給の為に1日数回の訪問を行い熱中症で入院することのないように取り組みました（熱中症での入院者0人）
- ・8月には「安心交流会」を行い安心の利用者・職員・ケアマネ・未就学児（職員の子ども達）など25名ほどが出入りしながら交流することが出来ました。得意なことを教えあう時間（アクリルたわし作り・折り紙教室）や皆でお好み焼きを作って食べたりと楽しい時間を過ごす事ができました。利用者の普段見ることがないお子さんと遊ぶ姿や、上手にしかもスムーズにアクリルたわし作る姿に発見もありました（職員も教えてもらいました）

6、協同福祉会の取り組み状況報告

- ・9月1日に防災訓練を実施しました。高齢者施設は年間の中で地震・水害・消防を想定した訓練が義務付けられています。今回は自身を想定した訓練となりました。自身が発生して一番大切なことは身を守ることです。そのためにも、普段から高いところに物は置いていないか、物が倒れそうなところはどこかを把握し対策しておくことが重要になります。今回非常食の実食も行いました。普段はIHでの調理が基本のため、ガスコンロを使用していた調理には四苦八苦しました。定期的に訓練を行うことで非常時にも慌てず対応できるよう備えていきます。
- ・友の会講演会を榎原文化会館小ホールにて実施しました。講師は村城相談役（前理事長）「どうする！？少子高齢社会 ～あなたの老後は本当に大丈夫ですか～」をテーマに大勢の方が参加されました。

【身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会】委員長：施設長（橋本和也）事務局：事務長（廣岡良一）

- ・2023年6月・7月に職員会議にて身体拘束・高齢者虐待・個人情報保護をテーマに委員会・研修・学習会を実施しました。

2023年7月現在、やむを得ず身体拘束を行っている入居者(グループホーム)の方はおられません。

7、今後の予定

2023年11月17日（金）10：00～11：30 あすならホーム畝傍 サロンスペース 対面開催

→2ヶ月毎の開催を予定しています。家族さんの情報交換の場、地域の方、行政の方への取組み発信の場にさせて頂きたいと思いますので参加の程よろしくお願い致します。

2023年7月21日(金)

まとめ・議事録：施設長 橋本 和也

1、ケアラーの会(運営推進会議)メンバー(本日の参加予定者)

※新型コロナウイルスの影響で自粛(開催中止)とさせて頂いた。

2、あすならホーム畝傍の取組み報告

※本まとめに記載。

3、本日出席して頂いている家族さん、参加者の方から…(自己紹介かねて)

※開催中止の為、報告の内容を書面でまとめている。

4、利用者登録状況

(1) 多機能型ケアホームの登録者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6月	3	2	9	7	4	1	2	28

	登録数	泊り 平均	通い				訪問 総数	通院 総数
			総数	日平均	日最高	日最少		
5月	28	5.3	416	13.8	17	4	385	9
6月	27	4.3	403	12.6	17	5	380	9

※7月21日現在の登録人数は27名、平均介護度は2.4の状況です。

(2) グループホームの入居者数

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
6月	0	6	4	4	4	0	18

※7月21日現在の入居者は18名、平均介護度は2.44の状況です。

(3) あすなら安心ケアシステムの登録者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
5月	19	4	5	4	4	36
6月	18	5	5	4	4	36

※7月21日現在の登録者は38名、平均介護度は2.16の状況です。

5、取り組み状況と今後の取り組み

【多機能型ケアホーム】

- ・5～6月にかけて多機能は、よく散歩をしました。季節もよく、近所に綺麗な花が咲いているので毎行かれても新しい発見と感動があります。利用者同士で手を繋ぎ歩かれる。写真を撮ると、笑顔でおさめます。
- ・多機能は毎日、体操をします。利用者さんが体操を楽しみにしています。
- ・毎年恒例の七夕は利用者さんが短冊に各々願いを書き、笹の葉に飾りました。



【グループホーム】

- ・6月には事業所の畑で育てているジャガイモを入居者さんとともに収穫しました。

収穫した大きなジャガイモを使ってこふき芋を作りました。皮をむいて頂き、食べやすい形にカット、火にかけている間も出来上りを楽しみにニコニコされていました。美味しいこふき芋ができました。

- ・天気のいい日にテラスに出て日光浴をしました。リハビリ体操・口腔体操も外で行い外気に触れて気分転換になりました。

【あすなら安心ケアシステム・安心支援システム】

- ・ご利用の皆様が楽しく食事が出来るようサポートしています。季節のいいこの時期、お弁当を持って公園で行って食べたり、外食を楽しんだり、一緒に食事をとる時間を作ったりしています。お一人での食事と違い食欲もわくようです。また、食事の話題も広がりいろんな事を聞かせていただけます。

食べることは生きる事！これからも楽しく食事をしていただける取り組みを続けていきたいと思ひます。

- ・長い間入浴できていない・散髪も出来ていない利用者がいました。丁寧にご本人に寄り添い思ひを聞き定期的な入浴が出来るようになりました。定期巡回の特徴でもある随時訪問でその方の生活時間を把握していくことが出来た事も結果に繋がったと思ひます。

6、協同福祉会の取り組み状況報告

- ・5月下旬に多機能型ケアホームにおいて、新型コロナウイルス感染者が発生しました。利用者4名、職員4名の陽性者が出ました。館内アルコール消毒や、感染者への隔離対応で、サービス毎の職員出入口を分けるなどを行い、なんとか感染拡大を止める事ができましたが、今後も気持ちを許さず、職員一同気を引き締めて感染予防に努めたいと思ひます。ご利用者様や関係先にご不便とご心配をおかけしたことをお詫びいたします。
- ・6月10日に『ランチの日』を実施しました。約3年振りの再開です。新型コロナウイルス感染症以前は、30名以上の地域の方が登録されていましたが、現在は3分の1程度まで減ってしまいました。要介護状態になられた方やお亡くなりになられた方もいます。コロナ禍で行われてきた外出自粛や他者との交流を控えるといった行動が、高齢の方々にとっての日常生活に多大な影響があったと感じます。今回の『ランチの日』は、地域の方7名、ボランティアと職員含めて計16名参加していただき、学習会も行いました。元保健師の仕事されていた認知症当事者の方も参加くださり、保健指導やランチのお手伝い、掃除などをしてくださいました。高齢になっても、認知症になっても役割を持って行動する場所がある事が大切であると感じます。新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、10月からは、従来通り『0と5の付く日』月6回の開催を予定しています。

【身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会】委員長：施設長（橋本和也）事務局：事務長（廣岡良一）

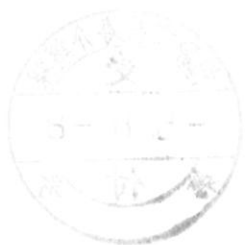
- ・2023年6月・7月に職員会議にて身体拘束・高齢者虐待・個人情報保護をテーマに委員会・研修・学習会を実施しました。

2023年7月現在、やむを得ず身体拘束を行っている入居者（グループホーム）の方はおられません。

7、今後の予定

2023年9月15日（金）10:00～11:30——あすならホーム畝傍——サロンスペース 書面開催

→2ヶ月毎の開催を予定しています。家族さんの情報交換の場、地域の方、行政の方への取組み発信の場にさせて頂きたいと思ひますので参加の程よろしくお願い致します。



2023年5月19日(金)

まとめ・議事録：施設長 橋本 和也

1、ケアラーの会(運営推進会議)メンバー(本日の参加予定者)

※新型コロナウイルスの影響で自粛(開催中止)とさせて頂いた。

2、あすならホーム畝傍の取組み報告

※本まとめに記載。

3、本日出席して頂いている家族さん、参加者の方から…(自己紹介かねて)

※開催中止の為、報告の内容を書面でまとめている。

4、利用者登録状況

(1) 多機能型ケアホームの登録者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	2	9	7	4	1	2	27

	登録数	泊り 平均	通い				訪問 総数	通院 総数
			総数	日平均	日最高	日最少		
3月	28	4.7	427	13.8	17	6	357	9
4月	27	4.3	390	12.6	18	10	322	9

※5月19日現在の登録人数は27名、平均介護度は1.94の状況です。

(2) グループホームの入居者数

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	5	4	4	4	0	17

※5月19日現在の入居者は17名、平均介護度は2.41の状況です。

(3) あすなら安心ケアシステムの登録者数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3月	21	5	4	6	3	39
4月	21	4	5	5	4	39

※5月19日現在の登録者は39名、平均介護度は2.15の状況です。



5、取り組み状況と今後の取り組み

【多機能型ケアホーム】

・春に換気と感染対策をしながら、利用者と職員で樫原運動公園にバラの花を見に行きました。天気も良くバラは見頃で、とても綺麗でした。コロナ禍で大きな外出もできなかったのも、とても楽しかったです。

・5月の終わりに利用者数名と職員数名がコロナに感染。通いなどの往来を止め、訪問も家族さんにできる限り依頼。最小限の支援にさせて頂きました。大事をとって10日間後に再開した時、利用者と家族さんに「待っていました。」と、とても喜んで頂きました。

【グループホーム】

- ・3月末には少人数にわかれて畝傍御陵前近くの桜を見に行きました。
満開の桜を見て「きれいやね。」「お花見できてよかった。」と入居さん仰っていました。
- ・5月にはお誕生日の方のリクエストにより、感染対策を行いながらちらし寿司を作りました。
皆さんでお誕生の方のお祝いをしました。

【あすなら安心ケアシステム・安心支援システム】

- ・季節を楽しむ取り組みとして「いちご狩り」「お花見」に行きました。ご自宅前に桜がきれいな公園の利用者さんが「みんなでお花見に来たらいいのに」と仰って下さるので、利用者・職員とそこの公園でお花見しながらお弁当をいただきました。笑いあふれる会話で楽しい時間を過ごせました。
- ・車いすを利用しながら移動している独居の利用者さんは、ご自宅の庭が桜・梅・椿・アジサイなど季節を楽しめるようになっています。若い時からこのお手入れを頑張って来られたそうで車いすで見える花々を見ながら会話を弾ませました。また、見えにくい所は写真を撮って見てもらいました。お庭にはメダカもいて餌やりも一緒にしています。これからもご自宅での生活を充実していただけるようサポートをしていきます。

6、協同福祉会の取り組み状況報告

- ・ 榎原市にお住いの方を対象とした『2023 年度あすなら春の学習会』第1回目が4月25日（火）に無事開催できました。地域からは7名の方々参加いただき、「突然の要介護」になっても慌てないための準備やフレイル予防、管理栄養士から『簡単に栄養をとれるメニュー』、理学療法士からの『自宅で出来る簡単ストレッチ体操』など。グループホームと多機能型ケアホームの現場職員からの事例報告も発表させていただきました。事例発表では、ベトナムから日本へ来日して3年目となる技能実習生の発表が印象的でした。日本とベトナムの違い、日本の四季について、おでかけする事の大切さを上手くまとめられ、日本語での発表も上手にされていました。残すところ第2回：5月30日（火）、第3回：6月27日（火）と春の学習会は続きますが、多くの地域の方に参加いただきたいと思います。
- ・ 5月10日（水）に消防訓練を実施しました。高齢者施設として感染予防上、まだ地域の方の参加を集えていませんが、徐々に地域の方々にも参加をいただけたらと思います。
- ・ 6月から地域貢献活動の一つである、『ランチの日』を再開します。少人数、事前予約制で「0の付く日」（月3回）から始めたいと思います。

【身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会】委員長：施設長（橋本和也）事務局：事務長（廣岡良一）

- ・ 2023年6月・7月に職員会議にて身体拘束・高齢者虐待・個人情報保護をテーマに委員会・研修・学習会を実施予定です。

2023年5月現在、やむを得ず身体拘束を行っている入居者（グループホーム）の方はおられません。

7、今後の予定

2023年7月21日（金）10:00～11:30——あすならホーム畝傍——サロンスペース 書面開催

→2ヶ月毎の開催を予定しています。家族さんの情報交換の場、地域の方、行政の方への取組み発信の場にさせていただきますので参加の程よろしくお願い致します。